



寺報 法蔵  
令和4年お盆号  
発行  
法蔵寺 29 世  
量譽真宏  
0288-21-8220  
開創 634 年

### 住職法話

## 伝える責任？次世代の幸せのために

ロシアによるウクライナ  
侵攻戦争が始まって半年が  
立とうとしています。未だ  
終わりが見えないこの戦争  
でたくさん尊い命が失わ  
れています。自身の最後を  
このような形で迎えようと  
は誰一人想像できなかつた  
と思います。亡くなった  
方々の来世での幸せと、一  
日でも早く終戦を迎えるこ  
とを心から願います。

\* \* \* \* \*

今回の戦争で、たくさん  
ヨーロッパについてテレビ  
や新聞で知る機会がありま  
したが、ロシアに近い地域

では今までも侵略戦争が繰  
り返し起こっていたとのこ  
と。それだけに、歴史から  
学ぶ「備え」があるそうで  
す。軍事的な備えはもちろ  
んですが、心の方の備えも  
しています。

「今ある幸せは、辛い思  
いをしてきた人たちが作っ  
てくれたもの。大切にしな  
ければならない。」

このような想いがあるそ  
うです。しっかりと歴史が  
伝えられているなど心を打  
たれました。

\* \* \* \* \*

私たちに、人生をかけ

て歩んできた経験がありま  
す。また少なからず親や祖  
父母から教えてもらったこ  
ともあります。そういうも  
のを、次の世代に「伝える」  
という役目があると思いま  
す。それをどう生かすかま  
では考えずに、今が、どう  
いう経緯であるのかは、伝  
えるべきでしょう。

「今が幸せならいい、充  
実していればいい。」

確かにそうです。でもそ  
の幸せが、もしかしたら縁  
ある人の苦労の上にあるか  
もしれない。それを知れば、  
さらに幸せが、尊いものに  
なるかもしれません。

\* \* \* \* \*

今年もお盆を迎えます。

めったに帰ってこられな  
いお子さんやお孫さん、兄  
妹親戚など会う機会もある  
と思います。ぜひ自分のこ  
と、親や家のこと、先祖様

のこと、地域のことなどを  
話題にして、少しずつでも  
生きた歴史を伝えていつて  
はいかがでしょうか。きっ  
と何かの役に立つことでし  
ょう。

合掌

## これからの子育て

● お盆・施餓鬼  
ほんせがき

● 施餓鬼塔婆受け取り  
せがきとうば

八月十六日(火)

受付：午前九時～午後三時

詳細は第二面に記載

● 秋彼岸法要  
あきひがんほうよう

九月十一日(日)

● 十夜大法要  
じゅうやだいほうよう

十一月十三日(日)

★五日～十五日：双盤念仏